

支部便り

関東支部における70周年記念事業開催報告

Kanto branch - 70th anniversary event report

田村 洋介

Yosuke TAMURA

関東支部では、2022年3月4日（金）に軽金属学会創立70周年を記念し、ホテルスプリングス幕張（千葉市美浜区）にて特別講演会と表彰式を開催した。本来は、工場見学会と発表会を兼ねた若手研修会（1泊）が関東支部70周年記念事業であった。しかしコロナウイルス感染症の流行が終息しそうになかったことから、年度当初に大幅な内容の変更を行い、改めて2つの事業に計画し直した。1つは2021年11月27日（土）に開催した若手研究者オンライン発表会、もう1つが今回の特別講演会・表彰式である。

オンライン一辺倒の行事になることに対しては、賛否両論があった。そのため、特別講演会・表彰式には対面形式を取り入れることとした。表彰式は運営委員と関係者による対面開催、同じ会場で行われる特別講演会はハイブリッド開催とし、広くオンライン参加の申し込みを募ることとした。以上の計画に基づき、3月4日に向けて着々と準備を進めてきた。しかし年が明けてからのオミクロン株の猛威には、さすがに完全オンライン化への変更も検討せざるを得なかった。感染者数がピークに向かっている頃に「対面中止」を提案していれば、そのまま承認されていたと思われる。会場キャンセル料が発生する前の2月半ば、運営委員と関係者に会場参加の可否を問い合わせた。その結果、20名ほどの会場参加が見込まれた。そして何より特別講演会講師の方々には全員会場参加いただけるようであったので、予定通り対面開催に踏み切った。開催前日までの参加登録者数は、全体で約45名（運営委員を含む）となった。

特別講演会の講師は、伊藤吾朗氏（茨城大学名誉教授）、小野幸子氏（工学院大学名誉教授）、櫻井健夫氏（神戸製鋼所）である。各先生には、いずれも縁のある方を通じて講演を依頼し、年末には皆様から正式に快諾を得るに至った。プログラムに記載の講演題目等は以下の通りである。

「軽金属学会での日々：追想」

工学院大学 名誉教授 小野 幸子

「アルミニウムによる自動車の軽量化技術と将来展望」

株式会社神戸製鋼所 次長 櫻井 健夫

「ワクワクする研究を求めて40年余」

茨城大学 名誉教授 伊藤 吾朗

小野幸子先生には、主にアノード酸化皮膜構造に関する研究成果をご紹介賜り、「特殊な事例を遡り、普遍を見出す」という研究手法を教示いただいた（図1）。女性特有の雇用問題に係る事情と併せ、考えさせられる内容も多々あったが、常に前向きな姿勢で研究を続け、成果を残されているところに敬服させられた。

櫻井健夫氏には自動車用アルミニウムの現状と将来技術についてわかりやすく説明いただいた。長年にわたり、アルミニウムの先進的ニーズに敏感に対応されてきたことが伝わり、アルミニウムにおける脱炭素化への対応、高度リサイクル技術など興味深い内容が盛りだくさんであった。

伊藤吾朗先生は、ご自身の研究を常に人との関わりをもって説明され（図2）、研究内容はもちろんであるが、その時代・場面における人間模様にも興味を惹かれた。上司である先生方とのリアルなやりとりから、優れた研究成果を残すには素直さや真面目さが必要であることを実感させられた。

特別講演会後の表彰式では、21名の「関東支部功労賞」受賞者を称えた。熊井真次会長にも参加賜り、華美ではないが、格式の高い雰囲気です式を執り行うことができた。



図1 講演会場



図2 講演風景